

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年5月24日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3970700138
法人名	医療法人 島津会
事業所名	グループホーム かがやき
所在地	〒787-0014 高知県四万十市駅前町5-20
自己評価作成日	平成22年1月15日
評価結果市町村受理日	平成22年6月2日

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成22年2月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3970700138&SCD=320
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

駅の近くにあるビルを改築し開設しており、地域との交流が難しい環境にあるが、毎日散歩や買い物にでかける等、少ない時間でも外に出られる活動を行っている。また屋内の環境を整え、職員教育の充実を図り、入居者が日々ゆったりくつろいで過せるように配慮している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

駅前通りの商業地に位置しているが、小さな畑にはエンドウやブロッコリーなど季節の野菜が植えられ、自然を感じてもらい取り組みができています。また、3階建ての建物を改築して1、2階を使用し、共有スペースはゆったりとくつろげる空間になっている。職員は、常に利用者主体に自分のことに置き換えて支援しており、利用者同士の会話も弾み、支え合う姿も見られ、表情も明るく、和気あいあいと家族のように生活している。年間の研修計画を立て、積極的に研修に参加し、職員の働く意欲や質の確保、向上に取り組み、管理者と職員の信頼関係のもと、サービスの質の向上に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>駅前の商業地域にあり、地域との関わりなど難しい点も多いが、日々サービスの提供場面で理念が反映できるように支援をしている。</p>	<p>独自の理念を目につく場所に掲示し、毎月の職員会で共有を図っている。ホーム全体を一つの家族と捉え、利用者主体の暮らしを大切にしている。散歩や買物に出かけた際は、挨拶や声かけを心がけ、地域との関係づくりに努めている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>近くに散歩や買い物に出かけている。地区会に入会し、事業所便りを回覧板で回してもらったり、地区の防災訓練に参加している。</p>	<p>地区会に加入し、一斉清掃や防災訓練などに参加している。また、喫茶店でのモーニングや買物を通じて地域住民と顔なじみになったり、事業所便りを地域に回覧し、事業所への理解を深めてもらうよう努めている。</p>	
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>キャラバンメイトの活動の構想はあるが、まだ具体的に動き出していない。</p>	/	/
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>毎回課題を決めて話し合い、改善可能な事柄はすぐに取り組み、時間を要する事柄についても前向きに取り組んで、サービスの質の向上に努めている。</p>	<p>事業所の運営状況や評価結果について報告し、参加メンバーから積極的な意見が出され双方向的な会議となっている。意見等はサービス向上に活かすとともに、会議録を家族に送付している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	福祉担当者の訪問や事故報告書の提出、介護保険、運営その他に関しての相談を行う等、より良い関係づくりに努めている。	介護保険や個別ケースなど困った時に相談したり、運営推進会議など、折に触れ交流を図り、協力関係を築いている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中は玄関の施錠はしていない。身体拘束に関する研修に参加し、他の職員も理解を深められるよう勉強会を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束をしないケアの実践について、研修受講や内部の勉強会を通じて職員の理解を深めている。外出傾向のある利用者を把握し、見守りや一緒に散歩するなど支援している。また、リスクに関しても家族と話し合い、了解を得ている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員全員が高齢者虐待防止法の理解ができるよう、職員会で利用者処遇について話し合ったり、日々の業務の中で注意し合って防止に努めている。			
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	数名の職員は制度を理解しているが、現在、制度の利用者はいない。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前、契約時、改定の際には十分に説明し、入居後も日頃から疑問点がないか尋ね、理解・納得を図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会を開催し、家族だけで話せる機会を作り、要望等を出していたでいる。折に触れ、利用者や家族と話す機会を設け、意見等を聞いている。また、玄関に意見箱や意見用はがきを設置している。	家族会から意見等を受けたり、アンケートや意見用はがきで家族の意向を把握するなど、意見を汲み取る工夫をしている。出された意見等は職員間で共有し、運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会で話し合ったり、日々意見を聞いて、可能な事柄は取り入れている。	毎月の職員会で、業務や待遇、利用者の個別ケアについて意見や要望を出し合い、運営に反映させ、働く意欲の向上や質の確保につなげている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	就業規則があり、遵守されるよう努力している。就業に関しては随時相談に乗っている。年2回の職員健診を行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新任者、スキルアップ、事業所内や外部研修など、パート職員も含めて段階に応じて職員育成に努めている。研修報告は職員会で発表し、全職員が閲覧できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	グループホーム協会に加入し、交流している。市内外の事業所見学に行ったり、他事業所の見学を受け入れている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	サービス利用開始前にご本人に面談し、希望等を聞き、信頼関係を築いている。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	サービスの利用開始にあたり、ご家族と十分に話し合っている。これまでの状況や要望等を聞き、信頼関係を築いている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	利用者、家族の状況に応じて相談に乗り、必要な支援の説明と紹介をしている。		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	毛糸編みや野菜作りを教えて貰ったり、お花を活けていただいたり、一緒に家事や作品作りをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	折に触れ利用者の様子や状況を家族に伝えて相談をしたり、家族の意見等もよく聞き、共に支えながら対処している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前から利用している美容院やスーパーに行っている。友人や親戚の来訪もあり、暑中見舞いや年賀状を出したりしている。	行きつけの美容院やスーパーに出かけ、知人、友人と交流したり、手紙や電話など、これまでの関係が途切れないよう継続した支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一緒にお茶を飲みながら話をしたり、家事やレクリエーションなどを通じて、一緒に生活する中で自然と助け合えるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も、入院先に見舞いに行ったり、他のサービスの利用者には面会に行っている。ご本人が亡くなられた時は送りに行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の本人の様子を見て把握に努め、その都度職員間で話し合い、検討している。	日々の関わりの中で思いや意向の把握に努めるとともに、意思疎通の困難な利用者は、事前に把握している生活歴等を念頭に、表情や家族等から情報を得て支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居当初に家族から生活歴等を聞いている。また、日々の会話の中で把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝の様子からその日のその人の心身の状態を把握し、状態に合わせて必要な対応をしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画には本人、家族、担当者の意向、意見を反映している。必要な時は主治医の意見を求めている。	その人らしい暮らしを支援するため、本人、家族の希望を反映した介護計画を作成している。毎月モニタリングし、3～6カ月毎に見直し、状況が変化した時は、その都度見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ケア表を作成し、実践が出来ているか記入している。出来ない時はその理由を記載し、カンファレンスや計画に役立てている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	今年度後半は新型インフルエンザ対策の影響で外出のニーズ等に十分応えることが難しかったが、希望の美容院や買い物などに出かけたり、通院介助は家族等の状況に応じ柔軟に対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	農協、美容院、コンビニエンスストア、喫茶店、スーパーマーケット等を利用し、豊かな暮らしができるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族と話し合っかかりつけ医を決め、定期的に受診の援助を行っている。緊急時も適切な医療が受けられる体制をとっている。	入居時には、利用者、家族と話し合い、協力医療機関がかかりつけ医になっている。専門医受診は家族対応としているが、行けない時は職員が対応している。受診結果は引き継ぎノート等で共有し、家族にも報告している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	受診時や必要に応じて馴染みの外来看護師に相談している。また、月に2～3回協力医療機関の看護師長が来訪し、入居者の健康管理を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時は見舞いに行き、病棟詰所で担当医師、看護師に面談し、早期に退院が出来るよう連携を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に家族に重度化等の対応を説明し、状態が低下した段階で終末期について話し合いをしている。</p>	<p>契約時に、看取り介護の指針に基づき本人、家族に説明している。状態が悪化した時は、家族の意向に沿って方針を共有し支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>心臓マッサージや吸引器の操作方法等緊急時の対応を訓練している。急変や事故発生時はマニュアルに基づき、直ちに協力病院に連絡し、医師の指示や看護師の応援を得るようにしている。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>マニュアルの計画に沿って年2回の防災訓練を実施している。災害時の食料等は3日分備蓄している。また、地区の防災訓練にも参加している。</p>	<p>「地震防災マニュアル」「火災発生時のマニュアル」に基づき、年2回防災訓練を実施しているが、地域住民の参加、協力は得られてない。避難路を確保し、3日分の非常用食料、備品も準備できている。</p>	<p>災害時には地域住民の協力が欠かせないため、今後も、地域との関わりや運営推進会議を通じて、地域住民の参加、協力を得た防災訓練の実施を期待したい。</p>
<p>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>日々の場面で注意し合いながら、出来るだけプライバシーや誇りを傷つけないケアに努めている。個人情報取り扱いに関しては現時点で可能な限り気をつけている。</p>	<p>トイレ誘導時などは小さな声で耳元で声かけし、自尊心やプライバシーを損ねない対応をしている。気になる場面では、管理者がその都度声かけし、全員で共有している。守秘義務も徹底している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	話し易い雰囲気を作り、折に触れ思いや希望を聴いている。説得はしないで納得のできる対応に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかな時間設定はしているが、朝寝や昼寝、手芸をするなど、可能な限り、本人のペースに合わせて支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の希望に沿って服を選び、必要な方は整容の援助を行っている。理美容は本人の希望に沿って馴染みの店に行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	感染対策により一緒におかずを作る作業が大変難しくなっている。その日食べたい物を聞いて献立に取り入れたり、手洗い等がしっかり出来る利用者は食材切りを一緒にしている。	買物から皿洗い、漬物作りなど、利用者の力に応じて役割を發揮してもらっている。職員からのさりげない声かけで利用者同士の会話も弾み、家庭的で楽しく食事をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取量をチェック表に記入し不足のないよう気を配っている。各々の嗜好、アレルギー、糖尿、塩分等症状に配慮して、献立を工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを声かけしている。自力で困難な方は各々に応じて移動や義歯洗浄の援助をしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表をチェックし、トイレの使用ができるよう声かけや誘導をしている。	利用者の排泄パターンを把握するとともに、表情や仕草から尿意を汲み取り、声かけすることで、全員がトイレで排泄できている。夜間のみおむつを使用して安心感を持ってもらい、トイレに誘導するなど、利用者の状況に応じて支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日中の活動を促したり、水分量を増やし、牛乳やバナナを摂取する等工夫している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	週3回以上は入浴ができるように曜日を設定しているが、状態や希望に応じて毎日入浴ができるように支援している。	利用者の希望に沿って入浴できるように支援しており、毎日入浴したり週に3回以上は入浴できている。入浴を拒む利用者にも、声かけ等の工夫をすることで、2日毎くらいに入浴できている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	朝ゆっくり起床する利用者や、昼食後休息を取る利用者もいる。個々の状況を見て必要と思われる時にはゆっくり休めるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬時は本人に手渡し、確実に服薬ができるよう支援している。薬の保管箱に最新の薬剤情報を一緒に置き、使用している薬剤について確認ができるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	畑仕事、花の水遣り、食器洗い、掃除洗濯等、本人の力に合った役割をこなしている。また、散歩や買い物、ドライブ等、気分転換の支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は駅や公園に散歩にいたり、買い物の希望があれば商店やスーパー等に出かけている。喫茶店や外食にも行っている。	最低でも週2回は散歩に出かけ、希望者や運動療法が必要な利用者は、買物等を兼ね毎日外出している。車椅子の利用者も週2回は外出している。また、時には弁当を持って出かけた、日曜日には代わる代わるにドライブに行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外食や買い物に出かけた時は本人が支払いするように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	折に触れて電話をしたり、暑中見舞いや年賀状を書いて出せるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	ワンフロアのため、テレビの音が大き過ぎないように配慮している。椅子やソファを置いてゆったりくつろげる空間を作っている。季節感を取り入れたレイアウトを工夫している。	菜の花や梅の花の折り紙や切り紙で壁面を彩り、お雛様も飾られフロア全体が明るく、温かい雰囲気があり、大きな食器棚は家庭と同じような生活感がある。また、家族が栽培した花を活けるなど季節感を採り入れ、居心地良く過ごせるように工夫している。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	一緒に座って話をしたり、離れて座れるように椅子やソファを置いている。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	自宅で使用していた家具等を持参してもらおうよう説明し、本人や家族が準備した物を置いたり、家族や友人との写真等を居室に置くようにしている。	使い慣れた家具や寝具、木製のベッドなどが配置され、家族や友人の写真を賑やかに飾るなど、家庭的で温かい雰囲気づくりに工夫している。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	フローアは安全に移動ができるよう手摺を設置している。必要な方には居室の入り口に物や表札を掛けて目印としている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	駅前の商業地域にあり、地域との関わりなど、難しい点も多いが、日々サービスの提供場面で理念が反映できるよう支援をしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近くに散歩や買い物に出かけている。地区会に入会し、事業所便りを回覧板で回してもらったり、地区の防災訓練に参加している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	キャラバンメイトの活動の構想はあるが、まだ具体的に動き出していない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎回課題を決めて話し合い、改善可能な事柄はすぐに取り組み、時間を要する事柄についても前向きに取り組んで、サービスの質の向上に努めている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	福祉担当者の訪問や事故報告書の提出、介護保険、運営その他に関しての相談を行う等、よりよい関係づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中は玄関の施錠はしていない。身体拘束に関する研修に参加し、他の職員も理解を深められるよう勉強会を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>職員全員が高齢者虐待防止法の理解ができるよう、職員会で利用者処遇について話し合ったり、日々の業務の中で注意し合って防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>数名の職員は制度を理解しているが、現在、制度の利用者はいない。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居前、契約時、改定の際には十分に説明し、入居後も日頃から疑問点がないか尋ねて、理解・納得を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会を開催し、家族だけで話せる機会を作り、要望等を出していただいている。折に触れ、利用者や家族と話す機会を設け、意見等を聞いている。また、玄関に意見箱や意見はがきを設置している。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会で話し合ったり、日々意見を聞いて、可能な事柄は取り入れている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>就業規則があり、遵守されるよう努力している。就業に関しては随時相談に乗っている。年2回の職員健診を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新任者、スキルアップ、事業所内や外部研修など、パート職員も含め段階に応じて職員育成に努めている。研修報告は職員会で発表し、全職員が閲覧できるようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>グループホーム協会に加入し、交流している。市内外の事業所見学に行ったり、他事業所の見学を受け入れている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用開始前にご本人に面談し、希望等を聞き、信頼関係を築いている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスの利用開始にあたり、ご家族と十分に話し合っている。これまでの状況や要望等を聞き、信頼関係を築いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者、家族の状況に応じて相談に乗り、必要な支援の説明と紹介をしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	毛糸編みや野菜作りを教えて貰ったり、お花を活けていただいたり、一緒に家事や作品作りをしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	折に触れ利用者の様子や状況を家族に伝えて相談をしたり、家族の意見等もよく聞き、共に支えながら対処している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前に利用していた美容院やスーパーに行っている。友人や親戚の来訪もあり、暑中見舞いや年賀状を出したりしている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一緒にお茶を飲みながら話をしたり、家事やレクリエーションなどを通じて、一緒に生活する中で自然と助け合えるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も、入院先に見舞いに行ったり、他のサービスの利用者には面会に行っている。ご本人が亡くなられた時は送りに行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々本人の様子を見て把握に努め、その都度職員間で話し合い、検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居当初に家族から生活歴等を聞いている。また、日々の会話の中で把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝の様子からその日のその人の心身の状態を把握し、状態に合わせて必要な対応をしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画には本人、家族、担当者の意向、意見を反映している。必要な時は主治医の意見を求めている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ケア表を作成し、実践が出来ているか記入している。出来ない時はその理由を記載し、次回のカンファレンスや計画に役立てている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	今年度後半は新型インフルエンザ対策の影響で外出のニーズ等に十分応えることが難しかったが、希望の美容院や買い物などに出かけ、また、通院介助は家族等の状況に応じ、柔軟に対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	農協、美容院、コンビニエンスストア、喫茶店、スーパー等を利用し、豊かな暮らしができるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>家族と話し合っかかりつけ医を決め、定期受診の援助を行っている。緊急時も適切な医療が受けられる体制をとっている。</p>		
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>受診時や必要に応じて馴染みの外来看護師に相談している。また、月に2～3回協力医療機関の看護師長が来訪し、入居者の健康管理を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時は見舞いに行き、病棟詰所で担当医師、看護師に面談し、早期に退院が出来るよう連携を図っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に家族に重度化等の対応を説明し、状態が低下した段階で、終末期について話し合いをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>心臓マッサージや吸引器の操作方法等緊急時の対応を訓練している。急変や事故発生時はマニュアルに沿って直ちに協力病院に連絡し、医師の指示や看護師の応援を得ている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>マニュアルを作成し、計画に沿って年2回の防災訓練を実施している。災害時の食料を3日分備蓄している。また、地区の防災訓練に参加している。</p>		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>日々の場面で注意し合いながら、出来るだけプライバシーや誇りを傷つけないケアに努めている。個人情報取り扱いに関しては現時点で可能な限り気をつけている。</p>		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>話し易い雰囲気を作り、折に触れ思いや希望を聴いている。説得はしないで納得のできる対応に努めている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>大まかな時間設定はしているが、朝寝や昼寝、手芸をするなど、可能な限り、本人のペースに合わせて支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の希望に沿って服を選び、必要な方は整容の援助を行っている。理美容は本人の希望に沿って馴染みの店に行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	感染対策により昨年にも増して一緒におかずを作る作業が大変難しくなっている。手洗い等がしっかり出来る利用者は食材切りや食器洗いを一緒にしている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取量をチェック表に記入し不足のないよう気を配っている。各々の嗜好、アレルギー、糖尿、塩分等症状に配慮して、献立を工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを声かけしている。自力で困難な方は各々に応じて移動や義歯洗浄の援助をしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表をチェックし、トイレの使用ができるよう声かけや誘導をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日中の活動を促したり、水分量を増やし、牛乳やバナナを摂取する等工夫している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	週3回以上は入浴ができるように曜日を設定しているが、状態や希望に応じて毎日入浴ができるように支援している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	朝ゆっくり起床される方もいれば、昼食後休息を取る方もいる。個々の状況を見て必要と思われる時にはゆっくり休めるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬時は本人に手渡し、確実に服薬ができるよう支援している。薬の保管箱に最新の薬剤情報を一緒に置き、使用している薬剤について確認ができるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	畑仕事、花の水遣り、食器洗い、掃除洗濯等、本人の力に合った役割をこなしている。また、散歩や買い物、ドライブ等、気分転換の支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>天気の良い日は駅や公園に散歩にいたり、買い物の希望があれば商店やスーパー等に出かけている。喫茶店や外食にも行っている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>外食や買い物に出かけた時は本人が支払いするように支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>折に触れて電話をしたり、暑中見舞いや年賀状を書いて出せるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ワンフロアのため、テレビの音が大き過ぎないように配慮している。椅子やソファを置いてゆったりくつろげる空間を作っている。季節感を取り入れたレイアウトを工夫している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	一緒に座って話をしたり、離れて座れるように椅子やソファを置いている。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	自宅で使用していた家具等を持参してもらおうよう説明し、本人や家族が準備した物を置いたり、家族や友人との写真等を居室に置くようにしている。		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	フローアは安全に移動ができるよう手摺を設置している。必要な方には居室の入り口に物や表札を掛けて目印としている。		

V アウトカム項目		ユニット共通	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない